

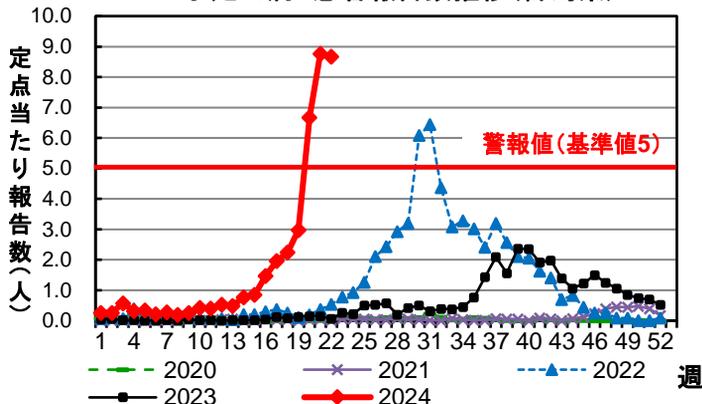
# 子どもの夏かぜに注意!



◆ **夏かぜとは?**…夏に子どもを中心に患者数が増える感染症の総称です。  
例年5～6月に流行が始まり、7～8月にピークを迎えます。

- **手足口病**：口の中や手足などに水疱性の発しんが出る。発熱しても高熱は続かない。大人が感染すると痛みが強くなることが多い。
- **咽頭結膜熱**：高熱（38～39℃）・咽頭炎・結膜炎などが主症状。高熱は比較的長く続くことがある。
- **ヘルパンギーナ**：突然の高熱（38～40℃）と咽頭痛が主症状。口の中に水疱ができ、痛みで食欲不振になることがある。

手足口病 患者報告数推移(群馬県)

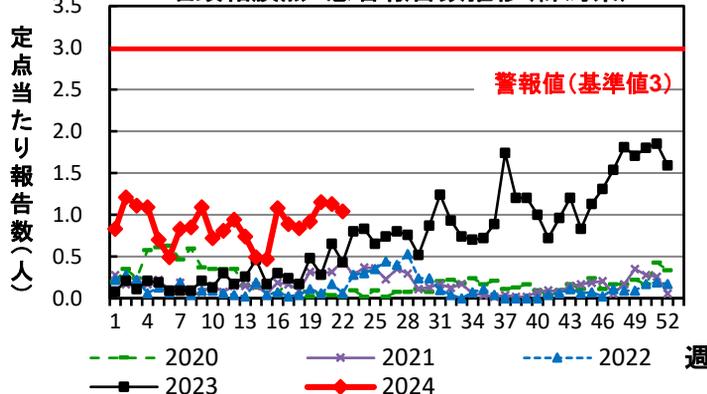


## ◆ 県内の現在の流行状況

手足口病の患者数の増加が例年より早く、全国平均よりも報告数が多くなっています。県内では警戒発令中です。

咽頭結膜熱についても、一部の地域では警戒値を超えています。

咽頭結膜熱 患者報告数推移(群馬県)



## ◆ 感染経路・予防法

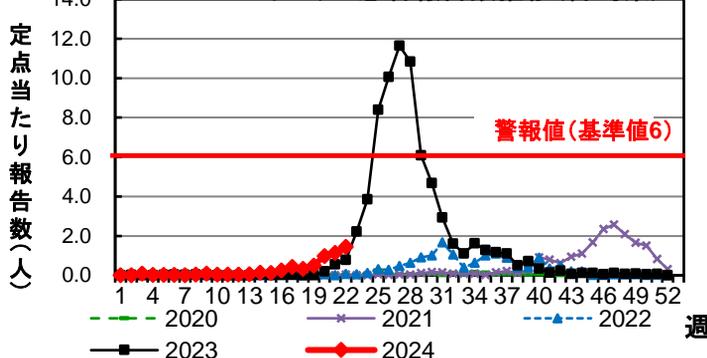
〔感染経路〕

- くしゃみなどの際に出る飛沫による飛沫感染
- 水疱の内容物や便に排出されたウイルスが手を介して、口や眼に入る経口感染・接触感染

〔予防法〕

- **原因ウイルスはアルコール消毒が効きにくい**ため、手指は、**石けんと流水でよく洗う**。  
特にトイレやおむつ交換の後には、しっかり手洗いをする。
- **タオルの共用はしない**。症状がある人は自宅でもタオルなどを共用しない。
- 咳エチケットを守り、症状がある場合はマスクをつける。

ヘルパンギーナ 患者報告数推移(群馬県)



### 症状があるときには?

- 医療機関を受診し医師の指示に従ってください。
- 水分と十分な休養を取りましょう。



★感染症の詳しい情報(群馬県感染症情報)

<https://www.pref.gunma.jp/page/3296.html>

